常磐毎日新聞

日刊

六月十五日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
福島縣平町字長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　（振替口座）東京　四〇二一〇番

天氣豫報

今晩は北東の風曇小雨
明日は北東の風曇雨模樣

銃後の緊張著しく
煙草賣上減る
節約して愛國貯金へ
平管內近年稀有の現象

長期對戰は今や全國津々浦々に迄叫ばれ銃後民は緊張し愛國貯金其他の方法で燃ゆる愛國心を爆發せしめてゐるが、これに伴つてか嗜好品の煙草がその賣上げを減少し專賣局を面食はせしめてゐる

——煙草專賣局平出張所去月中の煙草總賣上高八萬六千五百十圓八十七錢で前年同期に比較し三千四百九十九圓三十錢の減を示めし、これを步合にすると四分の減少で近年黑字づくめで鰻上りの賣上率を示して居た平出張所としては全く稀有の異變を來した譯である

內譯的に調べるとその中の黑字は何んと云つても大衆向きの『バット』で一割九分六厘『錦』五割二分六厘『響』一割三分『カメリヤ』十割四分、刻では『なでしこ』一割六分の增で殘る『朝日』一五割六分『みのり』（贈答品）三九割四分、同三三割『敷島』二二割七分『光』二二割九分の何れも減で六二割五分のチエリーは前年三千六百五十八圓二十錢を賣つたが本年は僅か五百四圓二十錢であり刻煙草で『はぎ』『さつき』は大小何れも五六割『あやめ』が一四割九分『白梅』の小三九割八分と赤字づくめで每月軍國景氣の波に一、二割の黑字を見せてゐた煙草も是れを控へて愛國貯金に振向ける等これによつて銃後民の緊張が益々濃度を加へて來た事を如實に物語つてゐる、これを總体的『口付、兩切、刻』の三種に分かつと口付は四割六分七厘、刻二割の減で兩切は一割四分五厘の增である

去月中黑字の主なる賣上は

バット四七、三六七圓三二錢、錦五、五二六圓八八錢、響四、三八七圓六五錢、カメリヤ二七七圓三六錢、なでしこ（大）七、八七二圓五九錢（小）二、六一四圓二四錢

六號線國道
改修陳情打合

平市を中心とする六號線國道勿來——久之濱間改修促進期成同盟會は今十五日午前十一時から平市會議室に關係村長を招集內務省の陳情について種々打合せを行つた

增産の一路を
辿る木炭景氣
二百五十萬俵突破
燃料國策への即應

濱通り三郡下の木炭生産高はいはゆる夏枯れの不需要期を控へたに拘らず、四月以降增産の一途を辿つてをり、こゝにも非常時下における燃料國策への即應を現してゐる

即ち四、五兩月に於ける石、相双三郡下の生産高は四月十八萬三千俵（昨年同月十四萬五千俵）五月十六萬九千俵（同十四萬九千俵）で前年に比し合計で五萬八千俵を增加してをり

更に六月においては既に六萬俵（昨年の生産高は九萬五千俵）を生産してゐる

この調子で生産を增加すれば十三年度は二百五十萬俵を突破する見込なので濱通木炭組合ではこれを機會に增産と改良を當業者に求める事となり近くポスター、ビラ等を配布する

水不足もなく
田植を統制
勤勞奉仕班の活動目覺し！

本郡の田植は郡農會で早植を奬勵した結果遲くも來る廿五日頃迄には終了の見込であるが懸念された水不足もなく勞力不足は各町村とも勤勞奉仕班の出動によつて緩和され有意義な田植統制を完全にやつてのけ極めて時宜に適したものとして稱讃されて居る

國語研究の
各校提出議題

既報縣下女子中等學校の國語科教員研究協議會は來る十七、八の兩日磐女講堂に開かれるが各校よりの提出協議題は左の如く終つて東京高師教授附中國語主任岩井良雄氏の講演があると

△磐城高女

一、國語科教授上國体明徵に關し特に留意すべき點如何

一、作文教程（一年より四年に亘る教授体系）について承りたし

一、教科用生徒自習書（虎の卷）使用につきて如何に取扱ひをさるゝか承りたし

△女子師範

一、國民精神總動員運動に即し國語科が果すべき實質的な陶治部面について

一、小學校の讀方教育につき指導上特に注意を要すると認められる點につき承りたし

一、要目改正に伴ひ教材取扱上特に留意しをらるゝ點につき承りたし

△會津高女

一、作文參考書を使用する可否如何

一、作文處理上の適當なる方法如何

一、話方の練習は如何なる方法に依るべきか

一、國語科課外教授の實際狀況承りたし

一、漢文採用の結果につき感想を承りたし

一、發音矯正に關して良法あらば承りたし

△安積高女

一、縣立女子中等學校國語科教員の相互連絡を圖る機關を設置するの件

一、漢文指導上各校に於て如何なる取扱をなさるゝか承りたし

一、作文指導上の取扱方に於て嶄新なる方法實施せらるゝ向あらば承りたし

一、生徒の讀物の傾向並に之が指導につき承りたし

一、辭書利用の狀況承りたし

△白河高女

一、國語教育特に話言葉の指導を含めてに關する特殊の御施設等承りたし

一、改正要目による文法教授につき御所見承りたし

一、作文科に於ける實用主義的要求に關し理論實踐兩方面より御高說拜聽致したし

一、三、四學年副讀本及文學史、又は漢文の取扱につき御實施の狀況承りたし

一、時局に鑑み「國語愛護週間」實施の必要なきや御高見を承りたし

一、校友會誌頒布後の御活用の方法承りたし

△相馬高女

一、漢文方法に關し御意見承りたし

一、方言矯正に成果を收めたる方法あらば承りたし

△喜多方高女

一、漢文教授の實際狀況承りたし

一、作文教授上最も有効なりと思はるゝ方法あらば承りたし

一、アクセント指導につき承りたし

△福島高女

一、作文教授上特別の方法あらば承りたし

一、國語教授上何を標準として抑揚を指導すべきか承りたし

小名濱支局通信

躍進途上に
重責の面々（九）

支局長　小野務平

▽鍵屋店主馬上兵吉君△

機を見るに明敏な馬上君は急角度に金物店を開業し時代の寵兒たらむと勉むる傾きがある、現今の小名濱町としては土地相應の金物店はあるが將來を達觀しての大金物店の素質を備へた店は少い金物店の延びる可能性が玆に在る。

君は早くも玆に着目して堂々たる店舖に豐富の資本を投して開業したのであるから豪氣である開店匆々門前市をなして居る繁昌さを示して居る、元來君の過去は一職工の家に生れ出發を大工として世に出たのであつた、天性物に當つて機敏である上に研究心に富むで居たので種々研究した結果一大工として止まる事を欲しなかつた。

機會ある每に其鋭鋒を顯し町の有力家と接近し自ら喧傳にも勉めた、其結果として町の請負や、會社建築などの請負に誠の意ある仕事をなして漸く其手腕を認めらると共に私的財政も基礎が固まつて來た、昭和四年七月本町の死活問題として展開された商港事業の中止的命令に對して擧町奮然蹶起して其復活運動に狂奔せねばならぬ事となつた、其時である、君は金若干をポンと當時の町長鈴木榮氏の前に抛げ出して是れを運動の一助として使つて下さいと至誠こめた獻金を申込むだのであつた。

容易では感情に動かぬ鈴木町長も馬上君の此の擧に對しては心からの感激の爲めに其採納に就ての町會には淚を吞んで佐倉義氏に比し賞讃したものであるが其機を掴むで私財を有効に使ふ事に人の意表に出つる事が一二ではない。

此の呼吸を辨へた君は爾來十星霜東奔西走遂に堂々たる邸宅、輪奐の美を極めた店舖そして躍進を重ぬる小名濱町に商賈の少い金物商に巨資を投じて開業した事は時代を達觀するに如何に明敏であるかが窺へ知る事が出來よう。

君齡五十六歳千辛萬苦の經驗の上に永年百練の功を積んだ商才を基礎として躍進途上の磐陽の實業界に雄飛を試みんとして居る小名濱町の躍進に即して君を待つ者決して少くない事を告げて鍵屋商店の繁昌を祈るものである。

十四歳の少年
平市で雲隠れ
自轉車修繕に出たまゝ
十日過ぎても歸らない
父親の松本教員心配

上小川村江田、江田分教場教員龜次郎氏長男松本高昌（一四）君は去る五日午後五時頃平市北目町矢野自轉車店に自轉車の修繕に赴き歸途外に用達に出かけたまゝ行方不明となつたので十五日父から平署に捜索方を願ひ出た

土木委員會

十六日午後一時から平會議事堂に土木委員會を開き
△通路敷地買收交渉の件
△道路土地寄附採納の件
を附議

是も金物泥

內郷村小島運搬夫坂本高義（二〇）は去る二日夜同村金坂選炭場から鐵類を盜んで十五日平署に檢擧

在滿の一勇士が
平市に匿名寄附

十五日青沼平市長宛に「在滿一勇士から」とこれは慰問金や俸給の一部を蓄いた少額なものですが平市在住の遺族にあげて下さいと金十圓を送つて來たので市長以下吏員一同を感激せしめてゐる

野球と
柔劍道
縣下前哨戰

縣下大會の前哨戰——濱三郡下中等學校の野球及び柔劍大會は既報の如く來る十九日双中球場並に相中道場に擧行されるが陸上競技大會も二十六日相中グラウンドに擧行されることゝなつた

小麥の販賣統制
二十二日に協議會

平市及石城郡下の國策にもとづく小麥增殖計劃に對する販賣統制第三年目の小麥販賣統制協議會は來る二十二日平市國体事務所に開かれる

平市參事會開く
公會堂の追加豫算其他

十八日午後一時から平市參事會を開き
△十三年度歳入追加更生豫算の件
△市有地賣却の件
△寄附採納の件を附議

郊外遠足
けふ第二校

平第二校は今十五日左の如く全校兒童の郊外遠足を催した
△一年—好間村鈴木牛乳牧場△二年—谷川瀬山△三年—平橋附近△四年同△五年—鎌田山△六年—同△高一—同△高二—御臺境附近

內郷映畫會

內郷村在郷軍人分會では補充兵教育資金造成の爲め十五日から三日間綴劇場で〃ソ滿國境をさぐる〃及び戰況兩ニュースを上映す

植田署のお手柄
仙臺の銅線泥を捕ふ

植田警察署では此程擧動不審で宮城縣登米郡新田村大字新田上字北澤菅井隆（三五）を逮捕へ同署に留置取調べの結果同人は三月下旬仙臺驛構內倉庫脇から仙臺遞信局の銅線七百貫（見積約一千七百圓）を窃取した三人組窃盜の片破れと判明犯行後風を食つて逃走行方を晦して豫ねて仙臺署が指名手配中の者でけふ同署から身柄引取に刑事が出張して來た由

十數回の
金屬窃盜
發覺逮捕

內郷村湯井場飯場磐炭坑夫安藤初吉（三六）は去る三月下旬頃から前後十數回に亘つて綴新斜坑から銅鐵を窃取した事發覺十五日平署に檢擧

上遠野獻金

上遠野村在郷軍人分會は今事變の一周年記念日である來る七月七日會員を總動員同村八百餘戸より一戸一品宛不用な鐵屑を集め賣上金全部を國防獻金とすることに一決した

歸還した浪曲師
平市で戰時もの一席

小名濱町上町浪曲師高波一聲事小磯己之吉君は今次事變に應召輝く武勳を樹てゝ此程凱旋したが得意の浪曲で歸還後傷病兵を慰問しやうと此程地元小名濱の後援で開灣資金を造成して仙臺方面に傷病兵の慰問をして歸つたが今度は平市役所、國防婦人平支部の後援の下に來る二十一、二十二の兩日市內聚樂館に開演する會費二十錢

尚終了後再び傷病兵慰問の途につくと

指紋賊起訴

既報指紋を突き付けられて素性を明かした詐欺、窃盜前科六犯の強か者——石川郡泉村大字久保田生れ大竹嘉重（三八）今十五日平區で大脇檢事取調べの上窃盜罪で起訴された

興業界
廿週年
惠原氏披露

內郷村宮惠原猪三郎氏は興業界に身を投じて以來廿週年に達し濱街道劇組合から役付廿年間の在職表彰を受け且つ舊昭和館も讓受けて第一劇場、第二劇場の店主となつた爲め十六日午後五時半から元昭和館に知己を招待披露式を擧行すると

中村配屬將校短期召集

磐中及び平商の中村配屬將校は隊付勤務のため來る二十二日から二十七日迄六日間原隊に召集される

暴行犯
豫審へ

既報神社の境內で少女に暴行加へた川部村字飼平炭礦坑夫栃木生れ三木積太郎（四三）は其後平檢事局で當澤上席檢事の取調べを受けてゐたが今十五日「暴行傷害罪」で起訴直ちに平支部の豫審に附された

港灣擴張
小名濱促進

小名濱町小野町長及び高木助役の兩氏は港灣擴張促進運動の爲め十四日上京

赤井村で
繰上當選

赤井村々議菊地德太郎氏平市移住に依る失格に伴ふ繰上選擧會は此程執行次點田久重雄氏が當選

老母を遺棄　植田

植田町大字佐糠字山崎製板職工松本義雄（三〇）妻勝代（二〇）の兩名は去る十一日實母あきさん（七三）を置きざりにして行方をくらましたので老母は泣く〳〵この程植田署に屆出たが兩名は群馬縣利根郡沼田町長谷川製材へ出稼ぎに行つた形跡あり目下この不心得者夫婦を手配搜査中である

貧血馬
川前に發生

川前村小白井橋本寅十氏所有牝馬（八歳）は傳染性貧血病と決定、近く屠殺處分

第一校容儀　平第

一校は明十六日全校兒童の容儀檢査を行ふ

平市人事

◎出生

△鎌田町三八堀江久雄（三九）氏二男清隆君
△胡摩澤一二一那須司（三〇）氏長男貴一郎君

今晩の部

▼後六、〇〇（子供の時間）世界偉人傳『アブラハムリンカーン』東京放送童話研究會
▼後八、〇〇　連續新講談「北海探檢の三雄」（其二）「間宮林藏」伊藤痴遊
▼後八、三〇　物語「徐州戰線報告」西村樂天
▼後八、五五　義太夫（大阪より）「碁太平記白石噺」（新吉原揚屋の段）竹本小仙

明日の部

▼後〇、〇〇　俚謠「草刈唄」外　松本木兆外
▼後二、〇〇　小學生の時間「高等科」「日本人の長所と短所」文博　田中寬一
▼後三、〇〇　婦人の時間「ムツソリニと婦人」下位春吉
▼後六、〇〇　唱歌「鐵兜」外　福島市內小學校選拔兒童
▼後八、〇〇　連續新講談「北海探檢の三雄（その三）」「最上德內」伊藤痴遊
▼後八、三〇　座談會「福島縣を語る」君島清吉
▼後九、〇〇　物語「俊寬燈籠」毛利菊枝

この度
支店長。
自宅。へ
電話
一七七番
架設致しました御利用の程お願申上ます

株式會社
常陽銀行平支店
電話　六三〇　四三〇番

白柄劍風連

大島多慶夫作
井川洗厓畫
[illegible]

……四六四……

主水の死（一）

十郎左衛門はめづらしくも主水の醉態を見て、一度は眉をひそめたが、すぐに愉快さうに相好をくづしてむかへた。

「主水。丁字風呂へまゐつたのか。おろくに會つてまゐつたのか」

とにや〳〵してきいた。

「いや。御殿樣一本槍で邸を出てまゐりました。けふこそ私の心の底を思ふ存分に申し上げるつもりで……？」

「ほゝう。主水。その方、何事か手前に不滿があるか。あゝわかつた。お京の過去の事でかな」

「そ、そんな事では……御殿樣の御身にかゝはる重大な事件でござります」

「何事ぢや」

と、彼は眼を細くして主水の醉ふてゐても、心の底まで醉ふてはゐない凛とした態度を凝視した。

「御殿樣。こゝに居るあなた樣のお友達は皆蛆虫です。まむしだ。御殿樣の血を吸つてゐるのだ」

と彼は小氣味よく喝破したのであつた。

お柳は、はらの底で痛快に感じた。

「主水。言葉がすぎはしないか」

と十郎左衛門はやゝ不興顏にたしなめた。

「いや。決して私は云ひすぎませぬ。あなたは惡友どもの掘つて居るおとしあなにすゝんでおちて行つていらつしやいます。それが御氣がつきませぬか」

彼は醉態はもうどこかへきえてしまつてゐる。そして、たゞ主人の身の上を安ずる臣下の純忠がその眞劍味のあふれてゐる顏にありありとあらはれてゐた。

十郎左衛門も主水にして、斯樣な事を云ふのをはなはだ意外と思つた。そしてやゝ心がうごいて來た。

「わかつた。まあけふは許せ。その方の忠義は無駄にはいたさぬ。よくわきまへてをる。もうよいもうよい」

「御殿樣。良藥は苦いものでござります。身を殺す毒は口にあまいものでござりますぞ」

「わかつてゐる」

「御わかりでございますか。それならばもう何事も申上げませぬ。私は此の家のすみつこで御殿樣の御歸館をお待ちいたして居ります臣下の分際ではなはだ無禮な事を申上げてあひすみませぬ」

と、主水はうやうやしく禮をして靜かに立上つた。

足はすこしふら〳〵してゐるが、入つて來た時の醉態はまるできえてしまつてゐた。

阪部は何とおもつたか、いきなり立上つて主水を追はふとした。

「阪部氏。どこへ行かれるか」

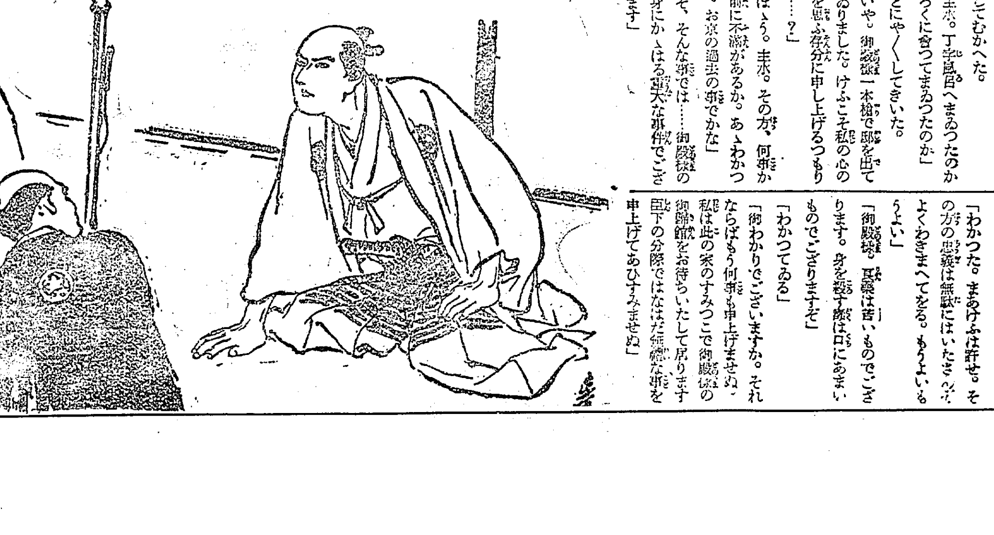
と十郎左衛門は不快さに詰問した。

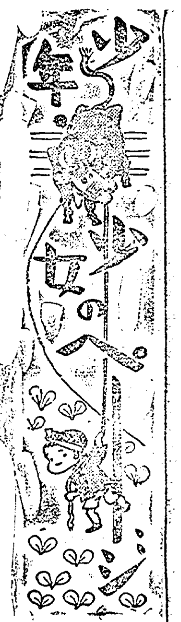
「生意氣千萬なやつぢや。われわれを惡友の、又蛆虫のと申したあんなやつこそ御身をあやまるのぢや。一刀の下に成敗いたしてくれる」

「いや。成敗してよいのならば御身の又はかり申さんぞ。拙者が相手にいたす。お控へなさい」

「うむ。いま〳〵しい小童ぢや」

と彼は佛頂面をしてすわつたが、一座は妙にしらけてしまつたが、十郎左衛門はお柳にむかつて熱いかんを云ひつけた。





なめくぢは 鹽をかけると何故とけるのか

雨降り續きに現はれる

夜寢る前には綺麗だつた筈だのに朝起きて見ると流し元と云はず羽目板と云はず、甚だしいのは臺所につゞく茶の間敷居の上にまで、ギラ／＼光るねん液の線が幾條もついてゐる――云ふやうな異狀を發見なさつた事はありませんか、この怪しき足どりこそ、夜毎床下からしのび出ては主婦の職場たるお臺所を荒しまはるグロテスクなナメクジです

なめくぢ の本當の活動期は梅雨の季節なのですが、ジメ／＼したお天氣がつゞくと、なか／＼その姿を消さうとはしません、そして潔癖な主婦連をなやませるのです

なめくぢ は日本獨のものを大別すると、ナメクヂ科の黄色ナメクヂ科の二種になります ナメクヂ科は更にナメクヂとミヤマナメクヂにわかれます、このナメクヂでミヤマナメクヂの方は山地生でいくらか大形です、普通は七糎位大きいのになると八糎から十糎位の長さを持つてゐます、黄色ナメクヂ科に屬するものに、黄色ナメクヂ、ノナメクヂの二種ともに背中に肉のもり上つたところがあります、こゝには外からは見えませんが、解剖して見ると、中に半透明の小さな、卷貝のふたの形をした薄い甲羅があります、ナメクヂが甲羅を持つてゐるなんて一寸愉快ですね、黄色ナメクヂは歐洲原產ですが、日本では東京、横濱附近に分布してをり、キャベツなどの野菜に害を與へることがしば／＼あります、その名の如く身體は黄色で、多くのまだらがあります、お臺所に出てくるのは、普通のいはゆるナメクヂ、それからこの黄色ナメクヂです、石の下、床下などの陰濕な場所に白い半透明の卵を十個乃至二十個生みつけます、この卵は、やがて成蟲となり、降雨期になると活動を開始するのですが、この外に寒いころ既に成蟲になつてゐるものがあります、これは多くは越年したもので若いものたちと一しよに活動を開始するのです

なめくぢ は、晝間は石の下にゐたり、枯板の蔭にかくれてゐて、夜になるとそろ／＼這ひ出し。お臺所では野菜をたべたり、あたりを這ひまはつて、氣味惡くギラ／＼光る粘液をまきちらし、野外では野菜やきのこ類や桑の葉（これは種類によつて違ひますが）などを喰ひ、また溫室では植物の根をたべたりして大きな害をすることがあります、さてこのお行儀の惡い曲者は、一體どうすれば退治ることが出來るのでせうか、普通行はれてゐる方法として

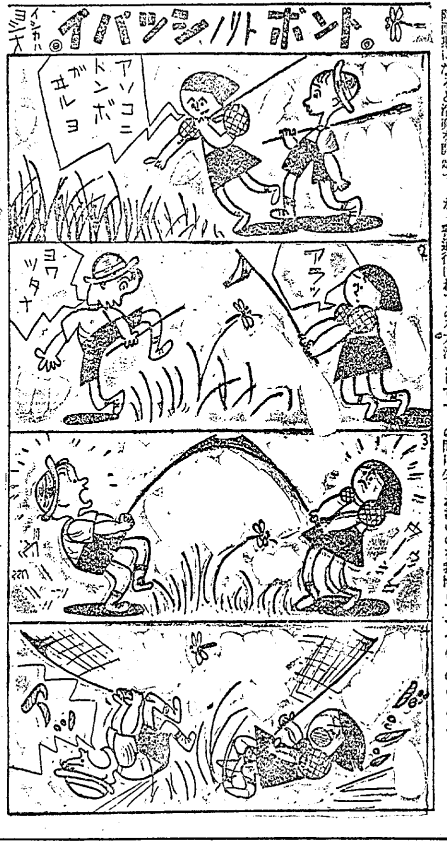
なめくぢ の出さうなところへ石灰をまくこと、濕氣ある所をなるべく乾燥させる事（これはなか／＼むづかしい問題ですが）などありますが、あたらしい方法は

として殺す方法などいかゞでせう

これは、素燒の植木ばちの樣なものに適當な濕氣を含んだ土をもつて、石を數個、ナメクヂがかくれるのに都合がよい樣に配列し、キウリの切りくづ等置いておくのです、くひしんぼうなナメクヂのことゆゑキウリにつられて出かけてくることは必定、やがて滿腹のこころよさから、石の下にもぐつてゆつくり休息するでせうから、朝になつてから、私たちは依然として彼を昇天せしめることが出來ます、もう一つ有効な方法としては夜間採集法をおすゝめします、これは

なめくじ の夜行性を利用して行ふのです、ナメクヂの活動するのは、およそ夜の十一時ごろから二時ごろまで、この間に少しねむいのを我慢してつかまへて歩けば、わけなく退治が出來ます、昔から、鹽をかけるととけてしまふと云はれてをりますが、これは鹽の刺戟でからだを收縮させると云ふばかりでなく、粘液を過度に分泌するし、粘液ばかりでなく體液までもしん透壓の關係で鹽に奪はれ、その上組織が分解すると云ふやうなことから、ほとんどとけると同じやうな結果になつてしまふのを云ふのです、御承知でせうが、ナメクヂなんてそのからだの大部分は水分みたいなものですからね、粘液だの體液だのを出してしまつたら、からだが消えてなくなるのが當然でせう

人の一生は
重き荷を負ふて
遠き道を行くが如し
―家康―


◎トンボトリノシツパイ◎ イシカハ ヨシヤ
アソコニトンボガヰルヨ
アラッ
ヨワツタナ

面白い蒙古のお相撲さん

「ハツケヨイ・ノコツタ、ノコツタ…」といふのは、わが國のお相撲ですが、こゝに、御紹介する蒙古のお相撲は「バリルタ」と申します

この「バリルタ」は、狩獵、競馬、弓の射競べなど、蒙古人の昔から大好きなスポーツの一つで、わが國特有の柔道と、どひようのないお相撲の合の子みたいなものです。

ごらんなさい！何しろどひようがないのですから、ころんで怪我などしないやうに、長靴をはき、身體には金ピカの赤や青の美しい武具をまとつてゐます。

むろん倒されたり、手をついたりすれば負けですが、勝つた方が負けたはうの手をとつて助けおこしてやるのが、禮儀になつてゐるとは、美しいスポーツ精神ではありませんか！

かの有名なラマ廟のおまつりに催されるこのお相撲で最後の榮えある優勝者には、王様からごほうびが出、晴れのボコル（强力）として皆さんから尊敬されます。

なほ、このお相撲がはじまる前には、周りで見物する人たちが、熱烈な應援歌を唱へることになつてゐます。

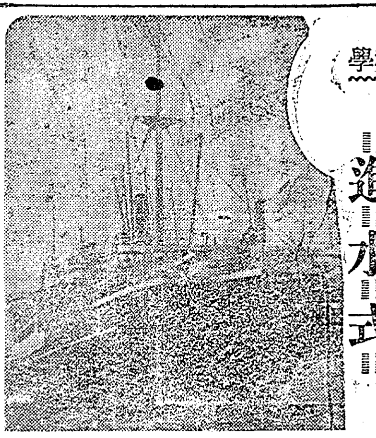
死體や着物を かぎだす軍用犬

犬、狼、狐などの鼻の孔は、二ツとも接近してゐて、先が平らになつてゐます。それは獲物が通つたアト、地面をかぎながら追ふ時、地面とすれ／＼になるやうに、平らになつてゐるのです。

例のかしこい獵犬などは、このするどくかぐ力を、人間が特にするどく仕込んだもので、いはゆる探偵犬などは地の下や雪の中へうづまつてゐる―死體や着物などを巧にかぎだす力を持つてゐます。

豬類も亦、先の平らな鼻をもつてゐて、かぐ力がするどく、しかも頑丈にできてゐて、ある時は、すきの代りをし、大きな岩をひつくり返したり、土を掘り下げたりして根や球根をさがしだして、うまさうにぱくつきます。

子供科學 不思議な進水式



みなさんは、軍艦や汽船の進水式をごそんじでせう、これを實際に見た方も、また見ない方もあることでせうが新聞雜誌やラヂオを通じ進水式といふものについてはごそんじのことでせう

◆

さて、皆さんが頭に描く進水式は、ドックの中で造られた船體が軌道の上をすべつて、船尾の方を先に向けて、海の中に勢よく走り込み立派に海上にうかぶあの勇ましいすがたでありませう、軍樂隊の吹奏とゝもに、綱のをのでつなぎくさりが切れるとスルスルと船は滑走臺をすべり出す、歡呼の聲の中に見る見る波をさつとけつて海中にもぐりはしないかと思ふやうに飛び込むと船は安定の位置に持ち直してポツカリとうかび上ります、そのとたんに船首のつり籠が割れて幸運の使ひ可愛い白ハトの群が空中に舞上ります！こゝで、ちよつとつけ足しておきたいことは、船尾の方からすべり込ませるのは船の勢をそいで早く艦を停止させる爲です、もしも船首からすべり込めば、勢よく波をけつて遠方まで進んで行つてしまふので、わざと船尾の方からすゝませるのです

◆

ところが、こゝに、皆さんの頭に描いてゐる進水式とは全く違つた風變りな進水方法があるのです、この奇妙な進水方法をお知らせしませう

◆

大河に面してゐる造船所、大湖に臨んで造船所などで、勢ひよく船がすべり込んだので、向岸に衝突したり、種々の障害物があつたりする場合には、この特別の方法が試みられるのです

◆

それは船を側面から水中に轉がし込む進水の方法です、最近米國ではレッド・クラワン號と名づけられる汽船が、この奇妙な方法で進水しました

◆

造船臺は初めから傾斜して作つてあり、此の上で船を組立て、出來上つた所で、丁度起き上り小法師を轉がすやうに、水のなかに放りこむ式があります

◆

全く見てゐると、あのまゝ水中にどぶんと入つてしまひはせぬかとハラ／＼するやうですが、綿密を極めた工學家の設計は、水中に入ると共に横倒しになつた瞬間くると傾斜を取戻してたゞしい位置につきます、此の方法は滅多に行はれないので、先頭たいへんな評判に上りました

◆

レッド・クラウン號は全長四六五フイート、はゞ五十五フイートの汽船で石油輸送船であります

不滅のシンボル

（[illegible]）

群司次郎正 作
六津進子 畫

…第三十六回…

空虚 (3)

と、早百合は仰山に言つて、まだ何か言はうとしたが、それはツ口を噤んだ。

『何うしたんです？え？』

杏二は微笑みながら、其の先を促した。

『いえね』

と、早百合は笑つて、

『最初、貴方から、さうではないかと思ふといふあのお手紙を見た時には、私はまあと思ひましてよ、さうして、これは屹度それにちがひないと、かうも思つたの。だつて、世の中にはさうしたローマンチツクな出來事が、幾らもあるんですもの』

早百合は今ありありと其の時のことを思ひ出すのだつた。

愈々それが靜枝だと判つたといふ第二の手紙を見た時に、自分はどんなに胸が躍つたらう！どんなに不安な氣がしたらう？恥しやまた、殊交が溫まりはしないか？さうまで思ひ詰めたものだつた。

……內儀さんの問題もさることながら、一つはそれを好機として一日も早く杏二を此方へ呼びたいと思つたのは、彼女との交渉を危惧した爲めではなかつたか？

おたきのことを口實に、横田の問題をも態と誇張して言つてやつたのは、矢張り少しでも早く彼を歸省させたい……靜枝から引き離したい、我慾の爲めではなかつたか？

さう思つた時に、では何の爲めに？何で自分はあの人にさうした感情を抱かねばならないのか？さう反省して來ると、彼女には其の理由がはつきりと判らないのだつた。

『嫉妬』

彼女もさうした淡い心持が自分の心の中に働き掛けてゐる事をどうしても否めないのだつた。

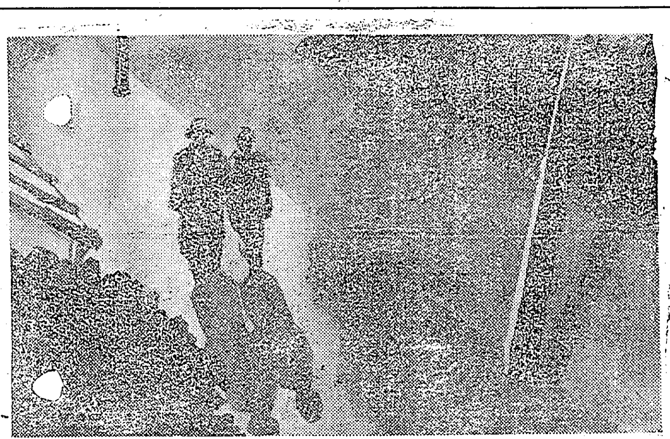
『……會つたにしても、昔腹が立つたことがまた新しく湧き返るばかりで、それ以外にはなんの興味も起らなかつた』

それを聞いて、早百合はホツとしたのであつた。

『本當？』

と、口を突いて出ようとした言葉をぐつと呑み下して、彼女は默つてゐた。

杏二もそれきり默してしまつた。



二人は互にぢつと思ひ耽るもののごとく、暗い水の上を凝視してゐた。

『さ、ぼつ／＼下りませうか』

と、ある衝動に怯えたやうに、杏二は突然起ち上がつたのであつた。

『さうですねえ』

早百合は何となくもの足りなさうな面持で、漸々ベンチを離れたとき、闇の中で不圖杏二の手に觸れて、彼女は忽ち胸が躍つた。

『まあ、何てあの方の手は溫かいんだらう―寒がりだといふのに』

彼女は不思議に思つた。それに引き替へ、私の此の手の冷たさ！

女は本當に冷血なのかしら？早百合はそんなことまで氣にしたりした。

『手の冷たい人は、心が溫かいんですつてね』

いつか言つた自分の言葉を、彼女は思ひ出したのである。

獨特のコーヒーとWINE
紳士の喫茶店
グリル バッカス
サービス料一割（外拜辭）
平市銀座通 TEL 702

女店員募集
▼年齢 十七歳より二十五歳位迄
▼月給 初給四十圓以上漸次昇給
▼待遇 衣裳貸與、食支給
何の氣苦勞もなく朗かに働ける固定給料制です。眞面目に働きたい方は！、健實な生活をお望みの方は！、至急お出下さい。懇切に御指導致します。

◎評判の美味しい
"みつ豆"
蜂密入フルーツ みつ豆
東京風アン みつ豆
電話二八 福壽軒

食事 喫茶 酒場を 兼ねた
レストラン サロン
平市田町 電三五二

視力保全運動
視力異狀に早期檢眼 明快な、視力能率增進、正確な眼鏡により視力を保全致しませう。
各眼科御用
眼鏡專門 玉屋眼鏡店 平市二丁目

フケで頭の痒ゆい方に……
三共のサボイド石鹸の御使用をおすゝめ致します。
本石鹸は最上の原料により製せられた硫黃コロイド石鹸ですから、其他あらゆる疲膚病の方が用ひてよろしく、又、皮膚病豫防の目的にて常用されれば美容と衛生の上から非常に喜ばしい効果をもたらします。
1ケ20セン
三共株式會社代理店
西村屋藥局
平市本町二丁目 電話三番

夏物は 是非！ 當店から
（在庫豐富）
玉屋洋品店
平 田町通 電話六五六番

提灯と國旗 平四 スクヤ

吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話八六番

御贈答に……
美味 鰹節
鰹鹽から
平市四丁目 志賀盛榮商店（電話二一三番）

花柳病科外科
木村外科醫院
平市六丁目橋際 電話三〇九

鈴木醫院
平市田町 電話五八番

外科內臟外科 X光線科 院長 安齋徹
―新設― 產婦人科 醫學士 黑澤廣
▽入院隨意△
平市田町 安齋醫院 電話四七五番

藤森の事務用品
タイプライターからペン先等に至るまで大小取まぜ『良い品』を『安くサービス』して居ります
どうぞ御引立の程を願上奉ります
東邦タイプライタ株式會社
東邦タイピスト養成所福島縣支部
タイプライター 謄寫版 文房具 事務用品
平市銀座通り 藤森商會
電話三七〇番 振替仙臺五一〇番

根本產婦人科醫院
平市南町五二【電話四三番】
（入院隨時）
根本莊次郎
根本貞雄

產科婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
病室增築、手術室完備
平市新川町 電話三六九番

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
平市田町 電話五一三番
內科小兒科 耳鼻咽喉科 外科花柳病科
―◎看護婦至急募集―

新緑の― 小瀧は招く
一日の清遊には……どうぞ小瀧鑛泉へ！
西洋いちごが出盛つてゐます。
猿の子が生れましたとても可愛いです。
鐵道指定旅館 割烹 小瀧鑛泉
電話小名濱一〇三番